

---

**やることないので、ネギまの世界で×××holicまがいの事をやっています**

加納 縦

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

やることないので、ネギまの世界でxxxholicまがいの事をやっています

### 【Nコード】

N8972Y

### 【作者名】

加納 縦

### 【あらすじ】

初作品です

不老チートと物作りチートで  
する事のない主人公がxxxholicまがいの  
事をしてダラダラと生きていく話です

文才がないですが、其れでもよろしければ  
どうぞ

## プロローグ(前書き)

初作品です

## プロローグ

【ゴツメーン暇だから、殺して  
転生させるから、神権限で。  
っていつてもわかんないか、  
今死ぬ1秒手前だから】

ほら、死んだ

side青年

ああ、今日も一日疲れた…  
早く帰って寝よう、其れが一番だ！

っと思つて居たのに、  
気づいたら森の中だった…

「わけ分からんことこだ？」  
うん？紙に何か書いてあるな、どれどれ…

【ここは、ネギまの世界です  
テンプレの所謂トリップです

お約束の特典は  
不老と物作りのチート以上2つです  
では、頑張つて生きて下さい

【時代は原作の1000年前です】

……マジデ……

⋮

## プロローグ（後書き）

頑張ります

## プロローグ2（前書き）

駄文です

## プロローグ2

s a d e 追われている少女

「はあ…はあ…誰か」

どこか隠れる場所を探さないとう！

ダン！

「ああ…」

ついにみつかってしまった…また、殺される

「見つけたぞ吸血鬼め！ 死ね！魔法の射手 光のっガ！」

「おいおい…幼女相手に何やつとるんだお前は」

そう言っつて着物を来た青年はその男を投げ飛ばした

「助けてくれるの？」

「ここ人は、私が吸血鬼だと言う事を知らないんじゃないだろうか…」

「いや…普通人が襲われてたら、助けるだろ…」

「そいつは人間じゃない！「やめて！！」

「言わないで！！」吸血鬼だ！」

ああ…せっかく助けてくれたのに…また、逃げないと…

この人にも殺される…

「だから何？」

「「は？」



「吸血鬼だぞ！人間じゃない化け物だ！」

「いや…そんな事言われても、

俺自身軽く400年位生きてるしなあ…」

ええ！！この人も吸血鬼？なのかな…

「なつてめえも化け物か！！来れ雷精

ウエニアント・スパーリトゥス

風の精（アエリアーレス・

フルグリエ…「遅い！白き雷！！」

なつ無詠s…」

魔法使いは言い終わる前に跡形もなく青年の魔法でけしとんだ…

s a d e 着物を来た青年

どうも400年ぶりです

え？とびすぎ？気にするな俺は気にしない

それにしても吸血鬼になんぞ初めて見たな

やっぱり心臓に杭を刺さないと

死ななかつたり、蝙蝠なつたり、

処女に血を吸つたりすんのかね

「そこんとこどうなの？」

「え？なつ何ですか？」

「いや、こつちの話だ気にするな」

「はあ…」

「んじゃ、帰るわ、  
ま、魔法使いとか、魔女狩りとかに  
気よつけるよ〜」

「あの、待って下さい!!!」

「ん？何？」

「あなたは私と同じ吸血鬼何ですか？」  
ああ…その事が…

「いや、ただの不老なだけの人間だよ」  
まあ、一応人間だ、龍とか殺せるけど。

「私を連れて行って下さい！  
いつも命を狙われてるんです…」

「ふむ…（まあ、魔法を一通り  
教えるかわりに仕事の手伝いをさせるか…）  
一応一流と呼ばれるぐらいには  
鍛えてあげよう  
何、お互い不老だ時間はたっぷりある  
その対価として俺の店で働いてもらう  
事になるが、いいか？」

「はい!!!よろしく願います!!!  
私の名前は  
エヴァンジェリン・A・K・マクダウエル  
と言います」

「ああ、よろしく

俺の名前は ナナシ だ」

ちなみに名前の由来は名無しからだ

「それじゃあ、行こうか」

「はい！」

## プロローグ2（後書き）

余談

エヴァ「ところでこんなところで  
なにしてたんですか？」

ナナシ「ああ、仕事帰りだったんだが、  
迷ってしまつてな 1年間ぐらい  
この辺をうるちよろしてた」

エヴァ「帰れるんですか？」

それって、激しく不安なんですけど」

ナナシ「……………行こうか」

エヴァ（本当に大丈夫かな？）

さらに1ヶ月迷ったのち帰れました

たらららら

エヴァは

サバイバル技術を手に入れた！

簡単な料理ができるようになった！

太陽で時間がわかるようになった！

方位磁石なしで

東西南北がわかるようになった！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8972y/>

---

やることないので、ネギまの世界で×××holicまがいの事をやっています

2011年11月29日02時47分発行